



日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

平成18年7月27日学術刊行物認可

Aesthet.Dermatol.
ISSN 1341-5530

Aesthetic Dermatology

36th Annual Meeting
August 4, 5 2018

Tokyo International Forum
Tokyo

Meeting Program

Vol.28
No.2
August
2018

日本美容皮膚科学会雑誌

日本美容外科学会共催セッション1-1

神経幹細胞培養上澄み液を併用したスレッドリフト

池田 欣生・森川 一彦

東京皮膚科・形成外科 銀座院



従来フェイスリフト手術はたるんだ頬を持ち上げる、という理由で剥離範囲を大きくとってSMASの引き上げを行っていたためダウンタイムがある手術であった。

しかし近年加齢による骨の形態の変化や頬の脂肪の増減、皮膚のたるみをフィラーや再生医療、高周波機器で改善させつつフェイスリフトを行うことにより、よほどひどいたるみでない、切らずに患者満足度をあげることが可能になってきた。

今回はクリニックでもっとも人気があるダウンタイムが少ない若返り治療、神経幹細胞上澄み液を併用した吸収性スレッドリフトについて動画を含めて報告する。

略 歴

大阪医科大学卒業。大阪医科大学で故田嶋定夫教授（大阪白壁美容外科顧問）、東海大学病院で谷野隆三郎教授（十仁病院顧問）の元で形成外科・美容外科を学ぶ。2000年5月に大阪いけだクリニック開院。

所属学会・専門医・資格・免許

日本形成外科学会 専門医

日本美容外科学会 専門医

医療アートメイク学会 理事長

日本アンチエイジング外科学会 理事長

国際美容医療研究会 理事

東海大学 形成外科 非常勤講師

15：10～16：40

日本美容外科学会共催セッション

「美容外科医が提唱する使える治療テクニック」

座長：大久保正智（等々力皮膚科形成外科）

青木 律（グリーンウッドスキンクリニック立川）

1. 神経幹細胞培養上澄み液を併用したスレッドリフト

池田 欣生（東京皮膚科・形成外科 銀座院）

2. 顔面や体幹部のしわや陥凹部に対して効果が高く持続の長い線維芽細胞成長因子添加型多血小板血漿治療

鎌倉 達郎（聖心美容クリニック）

3. 顔面の脂肪注入術

酒井 直彦（銀座S美容・形成外科クリニック）

共催：一般社団法人日本美容外科学会